

# 明治の目を実現しよう！

## ● 関連情報

第 12 号

発行 明治の日推進協議会（会長 塚本三郎）  
 国会担当 相澤宏明（090-7202-0139）  
 〒102-0093  
 東京都千代田区平河町2-16-5-302 高池法律事務所気付  
 TEL 03-53357-1344  
 FAX 03-5314-9480  
<http://meijinohi.com/>

### 明治の意義を見直す！

## 150年記念シンポジウム開催

〔産経新聞朝刊 平成29年10月30日〕

「明治150年記念」 維新の意義 議論

今年が大政奉還から150年目に当たることなどから、「明治150年記念シンポジウム」（同会実行委員会主催、産経新聞社後援）が29日、東京・永田町の星陵



明治 150 年記念シンポジウムの様子

会館で開かれ、有識者のパネリスト4人が約250人を前に、明治維新の意義を熱心に議論した。

パネリストの拓殖大学事顧問、渡辺利夫氏は「150年前に何が起きたか。封建社会という権力分散型の社会だった日本が、西欧列強に対抗するため一元化した時代だ」と振り返った。

文芸評論家の新保祐司氏は「日本民族に与えられた試練の時代。その意味を考える上にも、11月3日を「明治の日」と訴えた。国学院大教授の阪本是丸氏、元内閣府事務次官の松元崇氏も議論に参加。コーディネーターとして亜細亜大非常勤講師の金子宗徳氏も加わった。シンポの詳細は12月1日発売の月刊正論1月号に掲載される予定。

「明治百五十年」を迎えるにあたってのアピール

本年は大政奉還から百五十

年、明年は王政復古の大号令から百五十年にあたる。

両者は、神武建国の原点に立ち返ろうとするものであり、単なる政治体制の変革ではない。また、「明治」という新しい元号の下、

先人達は旧来の陋習を破るべく知識を世界に求めた。全ては、国家としての独立を保ち、民族の精神を高めんがためである。

我が国を取巻く国際情勢が混迷を深め、緊迫の度合いを強める今日、明治維新の歴史的意義を振り返ることは極めて重要だ。その観点からすれば、単なる歴史の通過点として「明治百五十年」を祝うだけでなく、「明治の精神」を回顧する機会として明治天皇の御生誕日である十一月三日を現行の「文化の日」から「明治の日」と

するなど将来に繋がる施策も必要だ。関係各位におかれては、積極的な取組みを御願いしたい。

平成二十九年十月二十九日

「明治百五十年記念シンポジウム」参加者一同

メッセージ

明治150年記念シンポジウムのご開催を心よりお祝いを申し上げます。

本日は公務のため、シンポジウムへの出席ができず大変申し訳ございません。

明治は、長い日本の歴史の中でも、欧米列強からの圧力に屈することなく、先人の努力により、見事に近代国家としての礎を確立した時代でした。

我々は、明治の時代を後世に伝え残すため、また国民がその思いを寄せる機会にするため、11月3日を明治の日とし、その実現のために国会において取り組んでいます。

皆様の思いを実現させるため、引き続き同志の議員と共に取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。結びにあたり、皆様方のご活躍を心より祈念申し上げます。

衆議院議員 古屋圭司



明治150年記念シンポジウムのご盛会をお祝い申し上げます。

我が国近代化の夜明けは、大政奉還から王政復古を経たあの150年前に始まりました。坂上の雲を仰ぎ見ながら列国の圧力に屈せず国民一丸となって国力の増強に邁進した先人の労苦を思うとき、今さらながら感謝に耐えません。

本日は素晴らしいパネリストの先生方をお迎えして、意義深いシンポジウムが開催されることは、明治の日創設を願うご参会の皆様にとって、大変心強いことと存じます。

私も明治の日創設の法律化に向け、同志の皆様と手を携えて全力を尽くします。

ご参集の皆様の方々の発展をお祈り申し上げます。

衆議院議員 稲田朋美



「明治150年」  
 関連施策推進  
 ロゴマーク